

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 法人での身体拘束委員会や勉強会に参加しているが、グループホームとしての研修がなされていない。	グループホームとしての身体拘束の勉強会を充実させる。	月に1回行っているケア会議の時に勉強会を行う。グループホームで起こりうる可能性のある身体拘束を職員で話し合い、解決策を考える。	2ヶ月
				年間の研修計画の中に組み入れる。	2ヶ月
2	35	○災害対策 火事の想定避難訓練は行っているが、水害・地震・津波などの訓練はまだ行っていない。	事業所が海岸線にあるので、地震・津波のマニュアルから作成し、訓練を行う。	職員全体で話し合い、避難経路・避難場所・避難にかかる時間など実際に時間を計ってマニュアルを作成し訓練を行う。	3ヶ月
3	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有。 重度化した時に、現在の職員構成でできることなど重度化した時の指針ができていない。	ターミナルケア指針の見直しを行い、家族・職員と共有する。	法人の医師や看護師長、外来主任、意見を聞き、ターミナルケア指針の見直しを行う。	6ヶ月
				職員間で話し合い、いま自分達のできることを確認し、できないことは研修を行い意識を高める。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。